

FRONTIER

予測できない未来を切り拓くためには、「既存の方法にとらわれず」、自ら適した方法をその都度選択して学び続けることが必要です。ちばっ子の学びに「ICT」という新しい選択肢を増やしましょう。



G I G Aスクール構想の基礎用語

今さら聞けない？

今回のG I G Aスクール通信では、日頃当たり前のように耳にするG I G Aスクール構想に関する基礎的な用語についておさらいをします。情報が次々にアップデートされているので、「既に知っているよ」という先生方も、常に新しい情報を得ることができるようにしていただくと幸いです。最後に確認のためのクイズを作成し、URLを掲載しましたので、チャレンジしてみてください。

「G I G Aスクール構想」 (ギガスクールこうそう)

【内容】

1人1台端末、及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想。

Global and Innovation Gateway for ALLを略して「GIGA」。

GIGAスクール構想の前はMEGAスクール構想だったんだよね？

そんなわけあるかい！

※MEGAスクール構想は実在しません。



「StuDX Style」 (スタディーエックススタイル)

【内容】

文部科学省がG I G Aスクール構想の実現を推進するために開設しているホームページ。使い方に慣れるための活用から各教科での活用など、積極的な情報発信を行っている。詳しくはこちらへ！

→<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>

「StuDX Style」では以下のことを知ることができます。

- ・OSごとに各会社が作成している活用事例など
(Apple、Google、Microsoft)
 - ・小中高の各教科による実践事例とICT活用のポイント
(特別支援は準備中です)
 - ・STEAM教育等の教科等横断的な取組
- ※メールマガジンに登録すると最新情報などが届きます！

「OS」(オーエス)

【内容】

オペレーティングシステムのこと。いろいろな機器に共通して導入されている基本ソフト。端末はいろいろな会社で作っているが、中身の基本的なソフトは全ての会社ごとにそれぞれが作製しているわけではなく、一定程度共通している。

「Windows」「Mac OS」「Chrome OS」「iOS」などが代表的なものとしてあげられます。

「ICT」(アイシーティー)

【内容】

「Information and Communication Technology」の略。日本語では情報通信技術。デジタル化された情報の通信技術であり、インターネットなどを経て人と人とをつなぐ。「IT」は情報技術であり、それを活用した「つながり」に重きが置かれるのがICT。



IT、ICT、IoTの違いについても調べてみてくださいね！（要チェック！）

「BYOD」(ビーワイオーディー)

【内容】

Bring Your Own Deviceの頭文字。自前で準備した端末を教育や仕事の場で用いること。端末支給のコストを削減できることや、日頃から使い慣れた端末を活用できるというメリットがある一方で、公私混同の状況になりやすかったり、利用ルールやセキュリティシステムがしっかりしていないと情報漏洩などのトラブルになったりする恐れもある。県立高等学校では、BYODの方式を採用している。

「CBT」(シービーティー)

【内容】

「Computer Based Training」あるいは「Computer Based Testing」の頭文字。

「Computer Based Training」は、eラーニングの一種で、児童生徒がドリル学習や動画視聴などの学習ソフトウェア等を用いて、主体的に学習に取り組んでいけるようになっていることが多い。

「Computer Based Testing」は、コンピュータによって試験の実施・採点・評価などを一括処理する形態の試験のこと。紙媒体では実施が困難であった音声問題や動画問題なども出題できるようになる。



CBTって、今後どのようなことが計画されているの？



令和3年7月に出された「全国的な学力調査のCBT化検討ワーキンググループ最終まとめ」において、**令和6年度から順次CBTを導入する方向性**が示されました。

千葉県では、令和5年度の県独自のテストとなる「**学びの未来デザインシート**」(これからの社会で求められる考える力を試すテスト)において、**CBTの導入を検討**しているところです。

現在、千葉県は、県が作成している「チャレンジ100」と「やる気学習ガイド」について問題提供を行っており、12月初旬よりMEXCBTに掲載されています。

これらはMEXCBT(機能拡充版)の活用募集の申込みを自治体単位で行うことにより、順次アカウントが配付されると、無償での活用ができます。

「MEXCBT」(メクビット)

【内容】

「文部科学省(MEXT)」と「CBT(Computer Based Testing)」を組み合わせた造語。

1人1台端末を活用したデジタルならではの学びの実現を目指している。

「Society 5.0」(ソサエティ ゴーテン ゼロ)

【内容】サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱された。



GIGAスクール用語についてマスターできましたか？ぜひ、チャレンジテストに挑戦してみてください！

URL: <https://forms.office.com/r/n2wnYhujsv>



GIGAスクール通信は、県教育委員会ホームページに掲載されています。バックナンバーなども御活用ください！

合言葉は「 I (今までの学びに) C (ちょっとずつ) T (取り入れる) 」